

消防の お知らせ



東京消防庁

公益財団法人 東京連合防火協会

No.204 平成31.2

3月1日～3月7日 春の火災予防運動

平成30年度 東京消防庁防火標語

火の用心 一人一人の心掛け

作者 向井 洋平さん
葛飾区在住

住宅火災を防ぐ！

住宅火災の出火原因の多くは「こんろ」「たばこ」「ストーブ」「放火」です。火災に対する日頃の備えを「住宅防火10の心得」により今一度確認し、家族で火災予防に努めましょう。



住宅防火10の心得

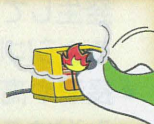
1 調理中は、**こんろ**から離れないようにしましょう。



2 **寝たばこ**は、絶対にやめましょう。



3 **ストーブ**の周りに、物を置かないようにしましょう。



4 家の周りを整理整頓しましょう。



5 ライターやマッチを子供の手の届く場所に置かないようにしましょう。



6 コンセントの掃除を心掛けましょう。



7 **住宅用火災警報器**を全ての居室・台所・階段に設置し、定期的な作動確認をしましょう。



8 寝具類やエプロン・カーテンなどは、防炎品にしましょう。



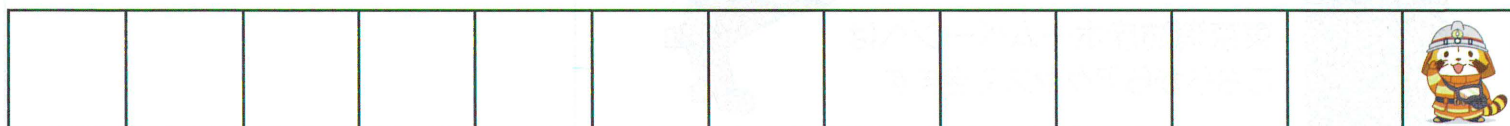
9 万が一に備え、消火器を設置し使い方を覚えましょう。



10 ご近所同士で声をかけあい火の用心に心掛けましょう。



回 覧 (裏面もごらんください)



日常生活の中での高齢者の事故を防ごう！



日常生活の中での事故で救急搬送される高齢者が年々増加しています。高齢者の事故のうち、最も多い事故の種別は、「**ころぶ**」で全体の**約8割**を占め、続いて「**落ちる**」・「**ものが詰まる等**」となっています。「**溺れる**」は、高齢者の事故の中で最も重症化しやすい事故です。高齢の場合怪我をすると重い症状になりやすく、生活に影響を及ぼすこともあります。加齢に伴い身体機能が低下しますので、本人だけでなく家族や地域で事故防止対策をしましょう。

こんな事故が起きています

事例 ころぶ事故

自宅の敷居の段差につまづいて転倒し、右大腿部の付け根付近を受傷し、動けなくなっているところを帰宅した家族が発見した。(90代 中等症)



事例 ものが詰まる事故

カットしたお餅を食べたところ喉に詰まらせ5分後に意識が無くなった。家族が餅を取り除こうとしたができなかった。(70代 重篤)



事例 落ちる事故

庭の柿を取ろうと脚立に上った際、約5mの高さから誤って転落し頭部を受傷した。動けなくなっているところを通りかかった通行人に発見された。(70代 重篤)



事例 溺れる事故

30分経っても浴室から出てこない。家族が確認すると、浴槽内に水没していた。(70代 重篤)



事故を防ぐためのポイント

① 階段や床での転倒事故を防止する

- 足元灯や照明器具の設置などで足元を十分明るくしましょう。
- 階段、廊下、玄関等には滑り止めをしましょう。
- 居室は整理整頓をし、つまづきそうな物を置かないようにしましょう。
- 居室内の段差をなくしましょう。

② 転落・墜落事故を防止する

- 脚立の天板の上やはしごの上方に乗っての作業はしないようにしましょう。年齢や個々の体力を勘案し、無理な作業は控えましょう。

③ ものが詰まる事故を防止する

- 餅など粘りのある食品は小さくしてから食べましょう。
- お茶や水など水分を摂りながら食事しましょう。

④ 溺れる事故を防止する

- 高齢者の溺れる事故の多くが「浴室」で、冬場に多く発生しています。浴室と脱衣場を温めてから入浴するようにしましょう。
- 長湯や高温、飲酒後の入浴はやめましょう。
- 入浴する時は、家族に知らせ、家族はこまめに確認しましょう。

詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



東京消防庁ホームページへは
こちらからアクセスできます



問合せ先